



最初にお読みください

CentreCOM® **GS908M/916M/924M**リリースノート

この度は、CentreCOM GS908M/916M/924M をお買いあげいただき、誠にありがとうございました。

このリリースノートは、取扱説明書とコマンドリファレンスの補足や、ご使用前にご理解いただきたい注意点など、お客様に最新の情報をお知らせするものです。

最初にこのリリースノートをよくお読みになり、本製品を正しくご使用ください。

1 ファームウェアバージョン 1.3.2

2 本バージョンで修正された項目


ファームウェアバージョン 1.3.0 から 1.3.2 へのバージョンアップにおいて、以下の項目が修正されました。

- 2.1 本製品宛ての通信に負荷がかかると、本製品自身が送信元となるパケットを送信できなくなり、この状態が継続すると本製品がリブートする場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 2.2 本製品宛ての通信に負荷がかかると、本製品自身が送信元となるパケットを送信できなくなり、この状態が継続すると本製品宛ての通信ができなくなる場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 2.3 ARP パケットおよびPing パケットを受信し続けると、実際には発生していないリンクアップ・ダウンを誤認識する、または自律リブートが発生する場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 2.4 SNMP、Ping、ポートのリンクアップ・ダウンによる負荷を受け続けると、コンソールからのキー入力ができなくなり、エラーメッセージが表示されることがありましたが、これを修正しました。
- 2.5 大量の ARP パケットやブロードキャストパケットの送受信が行われると、本体宛ての通信ができなくなり、コンソールの応答が遅延する場合がありますでしたが、これを修正しました。
- 2.6 スパニングツリー構成において、EAP パケット透過機能を有効にし、EAP パケットを受信すると、パケットループが発生していましたが、これを修正しました。

3 本バージョンでの制限事項


ファームウェアバージョン 1.3.2 には、以下の制限事項があります。

3.1 DELETE FILE コマンドのワイルドカード

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「ファイルシステム」


DELETE FILE コマンドで、ファイル名にワイルドカード (*) を使用する場合、ワイルドカード以外の文字列の大文字・小文字が区別されません。

3.2 TFTP によるファームウェアダウンロード

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「アップロード・ダウンロード」

- 本製品に Telnet でログインし、TFTP によるファームウェアのダウンロードを実行した場合、ダウンロード処理中に Telnet クライアントのウィンドウを閉じると、まれに本製品がリブートすることがあります。
- TFTP によるファームウェアのダウンロード時、ファイル転送後約 10 秒間は、本製品宛での通信ができません。

3.3 SNMP

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「SNMP」

- SNMP マネージャーから、スパニングツリーポートの有効 / 無効を設定できません。
- SNMP マネージャーからスパニングツリーパラメーターを複数同時に設定した場合、設定が反映されない場合があります。
- スパニングツリーが無効の場合、ブリッジ MIB の dot1dSTP 配下のオブジェクトを参照することができません。
- SNMP マネージャーからブリッジ MIB の FDB 情報（ダイナミックエントリーのエントリー数）を正しく取得できない場合があります。
- ブリッジ MIB の dot1dStpRootPort、dot1dStpHoldTime が正しい値を返しません。
- MIB-II の以下のオブジェクトが正しくカウントアップされません。
snmp グループ
snmplnBadCommunityNames、snmplnBadCommunityUses、
snmpOutNoSuchNames、snmpOutBadValues、snmpOutGenErrs
- SNMP マネージャーから、dot1dTpFdbPort の値を Get Request (dot1dTpFdbPort.MAC アドレス) で取得できない場合があります。また、端末を別ポートに移動後、Get Request (dot1dTpFdbPort.MAC アドレス) を実行すると、移動前のポート情報が返される場合があります。
一度 Get Next Request を実行すると、Get Request (dot1dTpFdbPort.MAC アドレス) での取得が可能になります。
- (GS916M/GS924M のみ) コンボポートの 1000BASE-T ポートが 100Mbps でリンクしている場合、MIB-II の ifSpeed および ifHighSpeed が正しい値を返しません。

3.4 HTTP サーバーのポート番号変更

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「HTTP サーバー」


SET HTTP LISTENPORT コマンドで、HTTP プロトコルのポート番号を変更した後、本製品宛ての通信に負荷をかけた状態で本製品を起動すると、変更前のポートがオープンしている場合があります。

3.5 ターミナルサービス

 「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「ターミナルサービス」

Telnet ログイン時、SHOW LOG コマンドを実行すると、「Ctrl」 + 「C」を押しても中断できない場合があります。

3.6 フォワーディングデータベース

 「コマンドリファレンス」 / 「フォワーディングデータベース」


- DISABLE SWITCH PORT コマンドでポートを無効に設定したときに、該当ポートの FDB が正しくクリアされない場合があります。また、ENABLE SWITCH PORT コマンドでポートを有効に設定したときに、FDB が（全ポート）クリアされます。
- VLAN にマルチキャストアドレスをスタティック登録し、ポートセキュリティの設定を AUTOMATIC から SECURED に変更した場合、該当 VLAN からポートを削除しても、スタティックエントリが削除されません。

3.7 IP

 「コマンドリファレンス」 / 「IP」

- ICMP エコー要求（Ping）パケットを受信した場合、応答に時間がかかることがあります。
- 本製品のコマンドラインから他の機器宛てに ICMP Echo メッセージ（Ping パケット）を送信すると Reply 番号がずれることがあります。
- 本製品から Ping を実行し、対象機器から ICMP Destination unreachable、または ICMP Time-to-live exceeded を受信したとき、正しいメッセージが出力されず、Request timed out と表示されます。


3.8 スイッチング

 「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」

- スイッチポートの通信速度を AUTONEGOTIATE、10MHAUTO、10MFAUTO、100MHAUTO、100MFAUTO、10-100MAUTO に設定すると link-down、link-up メッセージが表示されないポートがあります。
- コンボポートでトランクグループを作成し、GUI からポートと通信速度の変更をすると「通信速度が正しくありません。」というエラーメッセージが表示されます。
- SHOW SWITCH PORT COUNTER コマンドで表示される FCSErrors カウンターと、ExcessiveCollisions カウンターが正しくカウントされません。
- 以下の条件が重なった場合、1000Mbps ポートの通信がワイヤーレートで行われなくなります。
 - ・ IP パラメーターが設定されている


- ・ 10MHALF/10MFULL/100MHALF/100MFULL のうち2種類の異なる通信モードのポートが存在している（ポート1：10MHALF、ポート2：100MFULLといった状態。コマンドによる設定か、オートネゴシエーションの結果のリンク状態かは問わない）
- コンボポートがリンクしている状態で、コンボポートの設定を FIBER から COPPER、またはその逆に変更すると、ポートがリンクアップしなくなる場合があります。

3.9 ポートセキュリティー

 **「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」**


IGMP Snooping 有効時、メンバーが登録されているポートに対して、ポートセキュリティー (SECURED) の設定をしても、エラーで設定が有効にならない場合があります。

3.10 EAP パケット透過

 **「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」**


EAP パケット透過機能が有効のとき、VID=0（ゼロ）の EAP パケットがそのまま転送されず、転送先がタグなしポートの場合はタグなしで、転送先がタグ付きポートの場合は受信ポートの PVID が付与されて転送されます。

3.11 バーチャル LAN

 **「コマンドリファレンス」 / 「バーチャル LAN」**

- タグ VLAN のみに所属しているポートではタグなし BPDU パケットを受信することができません。
- イングレスフィルタリングを有効にした場合でも GUI からは VLAN モードをマルチプル VLAN モードに変更できてしまいます。

3.12 IGMP Snooping

 **「コマンドリファレンス」 / 「IGMP Snooping」**

- Group-specific Membership Query メッセージが同一 VLAN 内にフラッディングされません。
- IGMP Snooping 有効時、複数の IGMP Query を同一ポートで受信した場合、SHOW IGMP Snooping コマンドの Router Port の Address に、最初に受信した Querier の MAC アドレスしか表示されません。これは表示だけの問題であり、動作には影響ありません。


3.13 802.1X 認証

 **「コマンドリファレンス」 / 「802.1X 認証」**

- Authenticator ポートにスタティックエントリを登録する、またはスタティックエントリが登録されているポートを Authenticator ポートにすることはできません。また、現状このような設定をしてもエラーになりません。
- Authenticator ポートと Supplicant ポートは、トランクグループに所属させることはできない仕様ですが、現状このような設定をしてもエラーになりません。

- RADIUS Access-Request パケットに含まれる Calling-Station-Id/Called-Station-Id の MAC アドレスが「-」ではなく、「:」を用いて表されます。動作に影響はなく、認証は正しく行われます。

3.14 Web GUI

 **「コマンドリファレンス」 / 「Web GUI」**

- GUI の IP 設定で「インターフェース (VLAN)」の欄になにも入力せず「設定」ボタンを押すと IP アドレスが 802.1Q タグ VLAN モードのときは default VLAN、マルチプル VLAN モードのときは UV1 に割り当てられるため、その他のインターフェースからログインしている場合、GUI が使用できなくなります。
- GUI の「スイッチ設定」-「ポート一覧」の「ミラー」の項目に、ミラーポートに設定されたポートが「Mirror」と表示されず、「None」と表示されます。

4 取扱説明書・コマンドリファレンスの補足


製品と同梱の取扱説明書、および CD-ROM に収録されている「CentreCOM GS900M シリーズ コマンドリファレンス 1.3.0 (Rev.C)」の補足事項です。

4.1 サポートする MIB について

 **「取扱説明書」 108 ページ**


ファームウェアバージョン 1.0.0 から 1.1.0 へのバージョンアップにおいて、ブリッジ MIB に対応しました。これにともない、「本製品の仕様」の「サポート MIB」に、ブリッジ MIB (RFC1493) を追加します。

4.2 FTP

 **「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「アップロード・ダウンロード」**


FTP での同時確立可能なセッション数は 1 セッションのみです。

4.3 TFTP を利用したファイルのダウンロード

 **「コマンドリファレンス」 / 「運用・管理」 / 「アップロード・ダウンロード」**


ファイルをダウンロードするとき、同一ファイル名がすでに存在していた場合は上書きされません。

4.4 ミラーリング

 **「コマンドリファレンス」 / 「スイッチング」**


タグ付き設定のソースポートでタグ付きパケットを受信すると、タグなしでミラーポートから出力されます。

4.5 タグ VLAN

 **「コマンドリファレンス」 / 「バーチャル LAN」**


タグ VLAN にしか所属していないポート（受信可能なフレームタイプが、VLAN タグ付きフレームのみのポート）で他の VLAN に所属していないポートを VLAN から削除する場合は、該当ポートのタグ設定をタグなしに変更してから削除してください。

4.6 IGMP Snooping

 「コマンドリファレンス」 / 「IGMP Snooping」

Leave メッセージを受信したあとも Group Address、VLAN 名は SET IGMP Snooping TIMEOUT コマンドで設定した時間まで削除されません。TIMEOUT=0 設定時は Leave メッセージ受信後、約 60 秒で削除されます。

4.7 Web GUI の「再表示」ボタン

 「コマンドリファレンス」 / 「Web GUI」

以下の機能において、GUI で設定変更を行った後、コマンドラインで設定変更を行っても GUI の「再表示」ボタンを押すと、コマンドラインでの設定変更が取り消され、GUI での設定値が反映されます。

- IGMP Snooping
- Radius サーバー
- 802.1X
- 統計カウンター

5 未サポートコマンド

以下のコマンド（機能）はサポート対象外ですので、あらかじめご了承ください。

SET HTTP SERVER PORT

SET SYSTEM LANG

SHOW DEBUG

6 コマンドリファレンスについて

最新のコマンドリファレンス「CentreCOM GS900M シリーズ コマンドリファレンス 1.3.0 (J613-M0220-03 Rev.C)」は弊社ホームページに掲載されています。

本リリースノートは、上記のコマンドリファレンスに対応した内容になっていますので、お手持ちのコマンドリファレンスが上記のものでない場合は、弊社 Web ページで最新の情報をご覧ください。

※パーツナンバー「J613-M0220-03 Rev.C」は、コマンドリファレンスの全ページ(左下)に入っています。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>